

上越市デジタルまちづくりコンテスト 最終審査会

マイクラで創ろう！
ヤングライオンたちが主役の
20年後の未来の上越！



最終審査会進出作品

主催：上越商工会議所青年部上越ヤングライオン育成委員会

2025 上越市 デジタルまちづくり コンテスト 豪華賞品あり

マイクラで創ろう！
ヤングライオンたちが主役の20年後の未来の上越！

本文字では「未来の上越」をテーマに、マイクラで創った未来の上越のまちを応募し、審査員から選ばれた作品を表彰します。

開催期間 **2025.11.1(土) ~ 2026.1.13(火)**

応募テーマ **未来の上越のまちを想像しよう！**

部門

- 小学生部門 小学生が未来の上越のまちを想像し、マイクラで創った作品を応募します。
- 中学生部門 中学生が未来の上越のまちを想像し、マイクラで創った作品を応募します。
- 高校生部門 高校生が未来の上越のまちを想像し、マイクラで創った作品を応募します。

賞品ポイント **Minecraft**

応募資格 **上越市に在住する小学生・中学生・高校生**

主催 / 上越商工会議所青年部 上越ヤングライオン育成委員会
お問い合わせ / 上越市商工部 産業政策課
TEL 023-525-1165

※応募作品は審査員から選ばれた作品を表彰します。

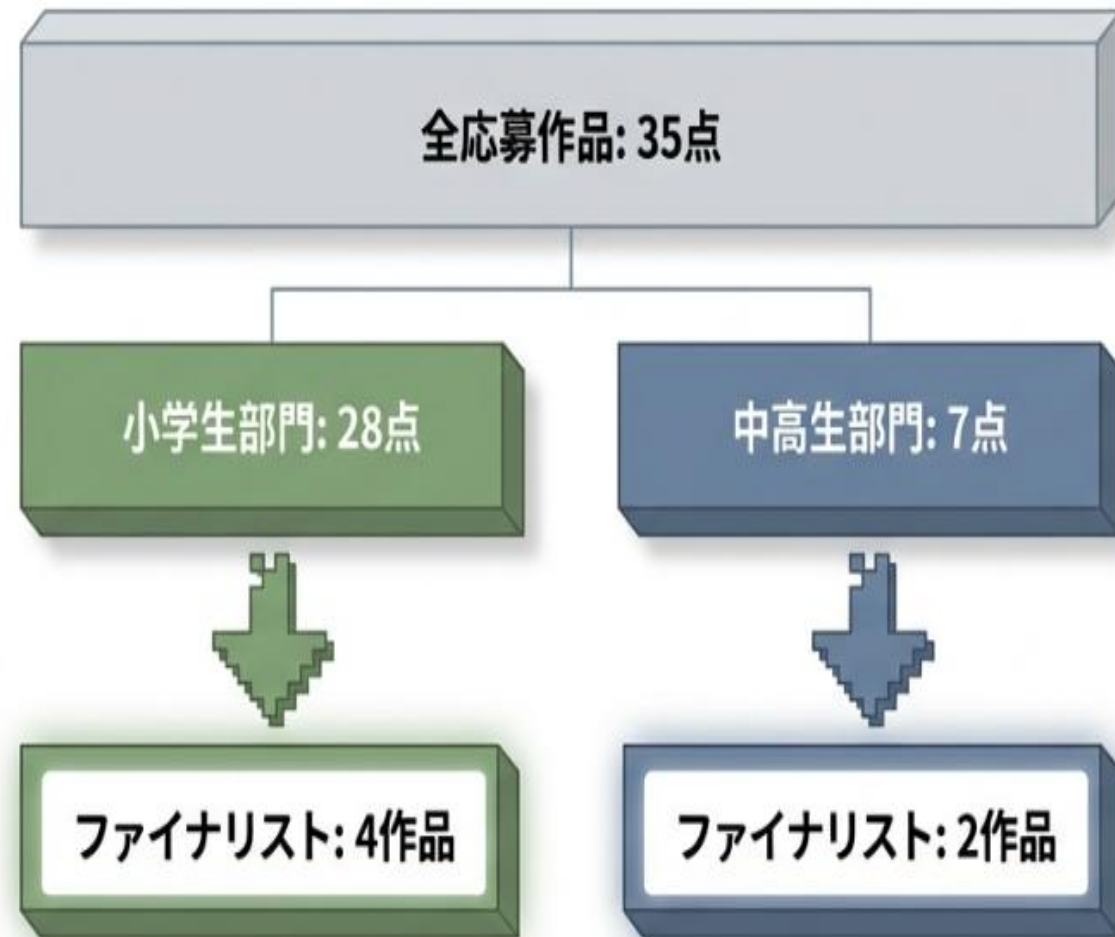
上越市に在住または在学の小学生から高校生まで
多くの子供たちが頑張って制作しました

応募総数 **35点**

(小学生部門 28 / 中高生部門 7)

最終審査進出 **6点**

柔軟な発想のもとに作成された作品、
しっかりと未来を見据えた作品など、
様々な内容となっています。



(注) 各作品の“作品名” “作品説明コメント” “作品画像” の複製・流用を禁じます

小学生部門①



特別賞
(しらべる力)

チーム名：ちあき（小3）

タイトル：健康といやしの上越妙高駅

作品説明・アピールポイント

- ・僕の作品で作った建物は病院・ドクターヘリ用のヘリポート・温泉・動物ふれあい施設です。
- ・4つの建物を作った理由は次の通りです。
- ・上越市は病院とお医者さんが少ないので、新幹線に乗ってたくさんのお医者さんが上越に来れるように、駅の近くに病院を作りました。
- ・また、上越市は面積が広くて山もあるため、ドクターヘリのためのヘリポートも作りました。
- ・これでたくさんの方の健康を守ることができると思いました。
- ・そして、病院で治療が終わったら次に温泉で体を癒すことができるように温泉も作りました。
- ・今も駅前に温泉がありますが、僕の温泉の特徴は屋上にあってお風呂に入りながら、新幹線が走っているところが見えることです。
- ・楽しみながら入ることができます。
- ・さらにいつも僕はペットのウサギに癒されているので、動物とふれあえる施設も作って、心も体も癒される場所も作りました。
- ・この4つの建物で健康といやしがある駅ができました。



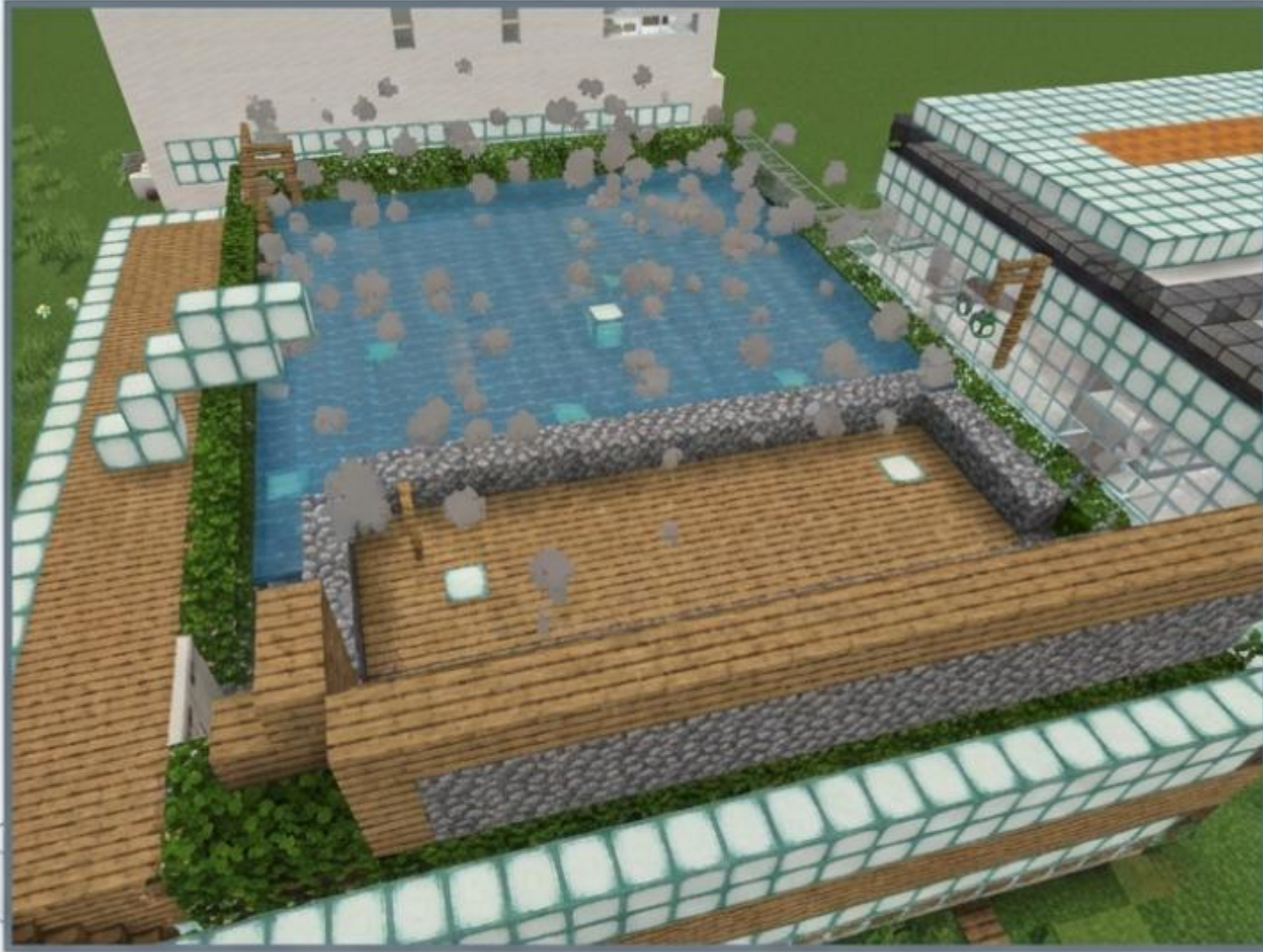
駅・病院・ヘリポートが一体化した配置計画

医療 × 癒やし： 新幹線直結のサンクチュアリ

「上越市はお医者さんが少ない」という課題に対し、新幹線で医師を呼び込むための駅直結型総合病院を提案。単なる治療の場ではなく、患者と医療従事者の「心のケア」まで設計された、優しさ溢れる都市構想です。

- **ドクターヘリポート**: 広大な上越の山間部もカバーする救急体制。
- **アニマルセラピー**: 動物と触れ合える癒やしの空間。

健康といやしの上越妙高駅



屋上温泉:「新幹線が走っているところを見ながら」入浴できる、鉄道のまち上越ならではの絶景露天風呂。



ヘリポート: 命を守るためのインフラを肌のすぐそばに完備。



ふれあい広場: 治療後の心を癒やす、緑豊かな動物たちのサンクチュアリ。

健康といやしの上越妙高駅



特別賞
(ひらめく力)

小学生部門②

チーム名：伊藤 啓（いとう けい）（小4）

タイトル：あったけさんぽ！上越妙高！

作品説明・アピールポイント①

- ・ ぼくがマイクラを始めたのは2025年の5月です。まだマイクラ経験は浅いけれど、上越妙高の素晴らしさやぼくが考える未来の様子を全力で作りました。
- ・ 駅の上階（3階または4階を予定）にはリニアモーターカーが停車します。
- ・ 新幹線の路線のさらに上です。ここは新潟県唯一のリニアの駅となり、上越妙高駅や周辺、上越市全体が盛り上がると思います。
- ・ 2枚目の写真はリニアのホーム、乗り口です。リニアは早いので安全は第一で更に重厚感があるような入り口にしました。
- ・ 非常ベルや石畳などを使用し安全を確保しつつ、ホームに降り立ったときには異国に旅行に来たようなわくわくとした気分にもなれます。
- ・ 自分でも実際にこのホームに行って、リニアに乗りたいです。
- ・ 次はフルサットを未来の形にしてみました。
- ・ フルサットの方に話を聞いた時、ドーム型になってほしい、と頼みがあったので、それを形にしました。
- ・ お店がとにかくたくさんあって、駅を利用する人はもちろん、フルサットにいきたいから上越妙高駅に行こう。とみんなが思うような中心的な存在です。暑さにも雪にも強く、老若男女が楽しめる施設です。
- ・ またフルサットの近くには桜を植えてお花見会場を作りました。
- ・ フルサットからも見えるので、中で見ても良いしフルサットで美味しいご飯や飲み物を買って少し散歩するのも良いです。
- ・ 上越市といえば桜。高田の桜がそれだけ有名だからこそ、上越妙高駅でも小規模でもお花見気分が味わえるとなれば、上越の玄関口として上越市全体をととても盛り上げることができます。

あったけさんぽ！上越妙高！

作品説明・アピールポイント②

- ・次の写真は猫の像です。
 - ・この猫はウォータースライダーやジェットコースターを兼ねていて、ファミリーも若い人もみんなが楽しめます。
 - ・上越妙高駅で降りる予定がなかった人も、車内から思わず写真を撮りたくなるような可愛いインパクトのある見た目を意識しました。特に耳の形を表現するのにこだわりました。
 - ・猫像のモデルはぼくの飼っている猫です。この大きな像が見た人みんなに愛される、上越妙高の象徴になってほしいです。
 - ・猫像のとなりにはキラキラ光る「I♡JOUETSUMYOKO」というモニュメントも作ってみました。
 - ・これはドローンで作って、時間になると(12時とか20時とか決まった時間)空に花火のように打ち上がったら良いなと思います。
-
- ・最後の写真はこどもセンターです。
 - ・ですが、こどもセンターといっても今まで通りのこどもセンターではありません。
 - ・僕は今、小学4年生10歳です。オーレンプラザや市民プラザのこどもセンターではもう遊べない年齢になりました。
 - ・公園で遊べば良いと思いますか？確かにそうですが、上越市は暑すぎたり寒すぎたり、天候に左右される日が多すぎます。なので僕は、天気も年齢も住んでいるところも関係ない、みんなが子どもらしく遊んだり勉強したり、自由に過ごせる施設を作りました。
 - ・1階から5階まで、赤ちゃんのベッドから高校生の勉強室も完備しています。
-
- ・必要だと思うものは全部詰め込みました。
 - ・「あるだけ全部詰め込む」ことを、「あったけさんぼ」と言うんだよ。とおじいちゃんが教えてくれました。上越市清里区の言葉です。
 - ・ぼくが考える未来の上越妙高駅は「あったけさんぼ」全て詰め込んだ最高の居場所にします。

あったけさんぼ！上越妙高！



新幹線の上層に設置されたリニア駅ホーム

全てを詰め込んだ「あったけさんぽ」なコンパクトシティ

清里区の方言で「あるだけ全部詰め込む」を意味する「あったけさんぽ」をテーマに、全世代が楽しめる機能を駅周辺に集約。新潟県唯一のリニアモーターカー駅を誘致し、都市の求心力を劇的に高める大胆な提案です。

- **リニア駅**：新幹線の上層階に設置し、重厚感と旅のワクワク感を演出。
- **フルサット・ドーム**：雪国・上越の気候に左右されない全天候型商業施設。

あったけさんぽ！上越妙高！

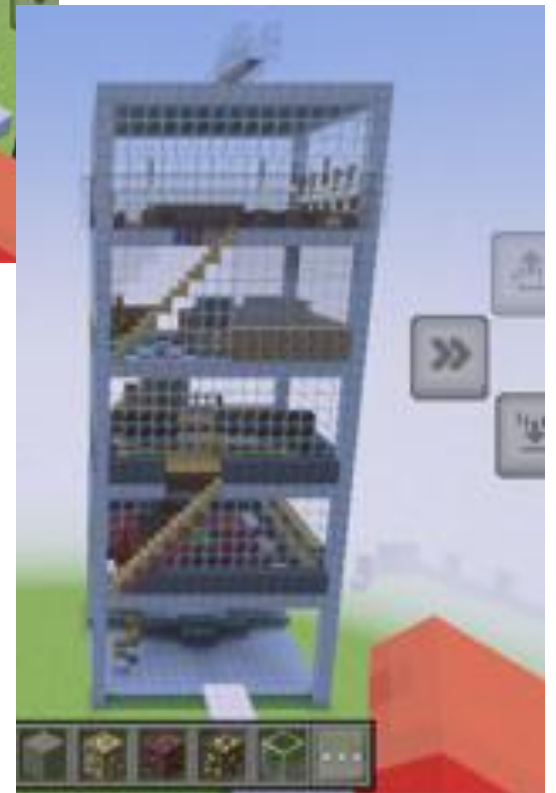


猫の像：ジェットコースターとスライダーを兼ね備えた、車窓からも目を引く新ランドマーク



ドーム型フルサット：
「屋根が欲しい」という
現実のテナントの声を反
映した未来の商店街

こどもセンター：
「公園は暑すぎたり寒
すぎたりする」という実体
験から生まれた、高校生
まで自由に過ごせる5階
建て施設



あったけさんぽ！上越妙高！



優秀賞
(小学生部門)

小学生部門③

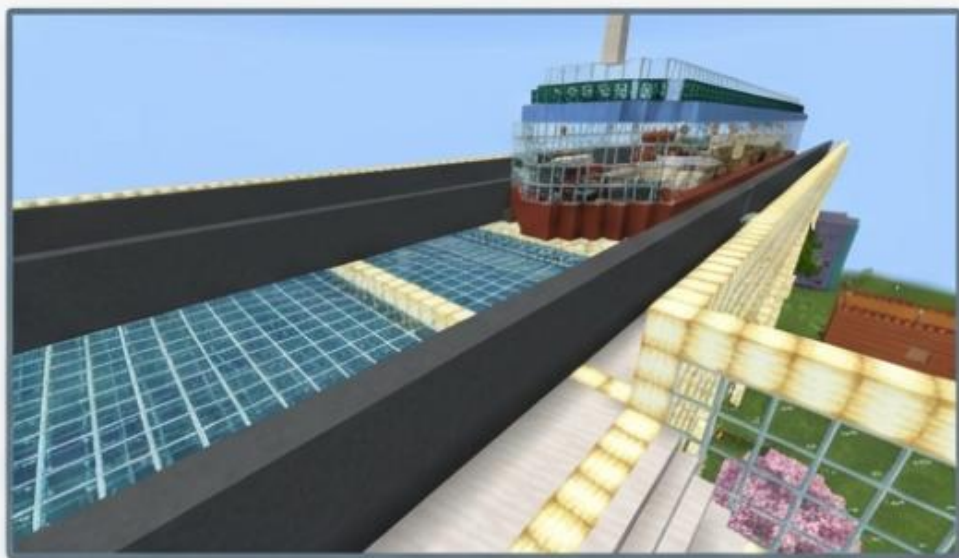
チーム名：Sm i l e A（スマイルエー） （小4）

タイトル：エナジーレールとレジャー満載の
ホテルトレインで自然を取り戻せ！

作品説明・アピールポイント

- ・こんな未来を想像しました。
- ・エナジーレールは新幹線のようにとても高い場所にあり、非常に細くて頑丈な柱で組み合わされています。
- ・この柱は電気や水も通します。柱は夜でも優しく光るのでみんなの目印になります。
- ・レールの大部分は透明な物質で出来ていて、下には水路があります。
- ・そして、このレールは太陽光を電気に変えることも出来ます。
- ・柱がとても細いのと透明なレールに水が流れているだけなので、レールの下地形はほとんど壊すことなく、そして明るいです。
- ・また、エナジーレールは雨水や汚れた水をきれいな水に変えることが出来ます。
- ・きれいな水がいつも流れているので沢山の木や花や草が育ち、大勢の動物や人達も集まって来ます。
- ・もちろんお米や野菜を育てることも出来ます。
- ・電気も使えるのでお店や建物も建てられます。
- ・列車はリニアモーターカーのように磁石と電力で走り、この列車自体もプロペラで風力を電気に変えられます。
- ・列車は、床以外はほとんど透明な物質で出来ていてあらゆる角度から景色を楽しめます。
- ・列車の中はまるでホテルのようになっていて、色々なテーブルや椅子、ベッド、本棚、アミューズメント、そして、なんと大浴場があります。
- ・未来は温暖化が進み、人が暮らせる場所は減ると思います。
- ・でも、エナジーレールが色々な場所に造られることにより、緑や生き物がまた少しずつ増えて、人々が暮らせる場所もまた少しずつ増えて行くと思います。
- ・そして、このレールの周りではみんなが安心して楽しく暮らして行けます。
- ・これが、僕が想像した未来の駅とレールと列車、そして世界です！

エナジーレールとレジャー満載のホテルトレインで自然を取り戻せ！



水を循環させ、自然を育む「エネルギーレール」

環境共生型インフラ：エネルギーレールとホテルトレイン

温暖化が進む未来を見据え、インフラ自体が環境を浄化するシステムを考案。透明なエネルギーレールは太陽光発電を行うだけでなく、雨水を浄化し、下層の土地に緑と農業を取り戻します。

- 浄化システム: レールを通る水が濾過され、大地を潤す。
- 透明な柱とレール: 日光を遮らず、下の植物や農作物を育てる設計。

エネルギーレールとレジャー満載のホテルトレインで自然を取り戻せ！



Noto Sans JP Regular Noto Sans JP

車内大浴場：列車の中に温泉やベッドを完備。移動時間そのものを楽しむ「ホテルトレイン」。



光る柱：夜間は優しく発光し、地域の目印となるランドマーク機能。



自然との共生：柱の下は地形を壊さず、動物が集まりお米も育つ豊かな生態系を維持。

エナジーレールとレジャー満載のホテルトレインで自然を取り戻せ！



特別賞
(テーマへの思い)

小学生部門④

チーム名：モナコノ（小5・小5）

タイトル：にぎやかな上越妙高駅

作品説明・アピールポイント

- ・ワークショップで上越市の人口が毎年減っていることを学びました。
- ・小学校の活動でも高田の大町地域で若い人が少なくなったこと、だけど県外から若い人がまた戻ってきて新しいお店を開いたりしていることも知りました。
- ・私達は20年後の上越妙高駅を県外や海外からもたくさん人が集まってにぎわう場所になって欲しいという思いを込めてみんなが楽しめる場所を作りました。
- ・駅前の透明ドームはデザインにこだわり、雨や雪の日も利用できる屋台などが中にあります。
- ・その他、夜でも遊べる観覧車やジェットコースター、宙に浮く図書館、かわいい動物園の建物も作りました。
- ・電車も乗れる場所が駅だけではなく、市街地まで来てくれるように、線路ものばしました。
- ・こんな駅になったら人がたくさん来てくれると思います！

にぎやかな上越妙高駅



雪から街を守り、年中遊べる巨大ドーム

人口減少を食い止める 「超・エンタメ駅」構想

「若者が減り、店が減る」という上越の現状を打破するため、県外・海外から人を呼び寄せる圧倒的なにぎわい拠点を創出。雨や雪の日でも遊べる巨大な透明ドームを中心に、都市全体をテーマパーク化します。

- 全天候型ガラスドーム: 雪国・上越の課題を解決する巨大な覆い。
- STATIONサイン:
遠くからでも一目でわかる、巨大な金色のモニュメント。

にぎやかな上越妙高駅



レインボー観覧車: 夜の駅前を彩る、カラフルなライティングのアトラクション。



宙に浮く図書館: 重力から解放された、未来の学習・文化スペース。



ドーム内商店街: 天候を気にせず、いつでも屋台やショッピングが楽しめる明るい空間。

にぎやかな上越妙高駅



最優秀賞

中学生・高校生部門①

チーム名：鈴木 葵斗（すずき あおと）（中1）

タイトル：妙高の四季と未来をつなぐ駅

作品説明・アピールポイント①

- ・ 妙高は、都会のような派手な観光地ではありません。
- ・ けれど、山があり、雪があり、水があり、四季がはっきりとしていて「日本らしさ」を味わえる場所です。
- ・ また、妙高は水がきれいな場所です。雪解け水が川や田んぼに流れ、おいしいお米や野菜を育てています。

- ・ この作品では、マインクラフトだからこそできる工夫をしました。
- ・ 本来は同時に見ることができない春・夏・秋・冬を、駅・駅周辺の中で表現し、桜や緑、紅葉、雪などを使い、歩くだけで妙高の四季を感じられる駅にしました。

- ・ 春は、高田城の夜桜をイメージし、釣り堀のまわりにたくさんの桜を植えました。釣った魚をその場で焼く調理スペースもあり、アミューズメント要素も取り入れました。

- ・ 夏は、緑があふれる山や川をイメージし、キャンプ場を作りました。
- ・ 流れる川や、噴水、屋台に打ち上げ花火、散りばめられた風船、楽しい音楽・・・で、自然の中で、のびのびと、楽しく過ごせる妙高の夏を感じてもらえるように工夫しました。

- ・ 秋は、山の紅葉や実りの季節をイメージし、レストランを作りました。
- ・ レストランの中には本が沢山あったり、2Fからは駅の景色が見れます。2Fの渡り廊を渡ると、コンテナが2つあり、1つはベッドのある休憩スペース、もう一つは料理を開発・研究できる部屋になっています。
- ・ 近くに農場や畑を作り、地産地消をイメージ。食べ物がおいしい妙高の秋を表しています。

作品説明・アピールポイント②

- ・ 冬は寒い冬でも暖かくなれる温泉を作りました。
- ・ 2Fにはサウナも完備。露天風呂からは滝の景色が見えます。
- ・ 滝の周辺には桜の木を植え、蛍も飛び交います。
- ・ 雪が多くても、人が集まり、あたたかく使える未来の駅を目指して作りました。
- ・ その他、駅前には公園があり、ゲーミングハウスもあります。
- ・ 公園にはブランコ・滑り台、鉄棒・水飲み場、椅子があります。
- ・ ゲーミングハウスは1Fは荷物置き場、2Fは大スクリーンでみんなでプレイできるところや、個室もあります。
- ・ 駅ナカも遊び心満載で、入口には派手な打ち上げ花火とイルミネーション、中に入り、駅員さんのゲートを通ると、巨大ツリーが。
- ・ 奥に進むとプール（子供プールや飛び込み台もあります）や射的、乗馬体験スペース、手持ち花火スペースがあります。
- ・ 電車の通る線路の両脇は水族館になっています。その先はワープホールにつながっていて、家に帰ることができます。
- ・ この駅は、ただの交通の場所ではなく、妙高の四季と未来をつなぐ駅です。
- ・ この駅をきっかけに、もっと多くの人々が妙高の良さを知り、訪れてくれたらいいなあと思いました。

妙高の四季と未来をつなぐ駅



エリアごとに季節のテーマを設定した全体計画図

空間デザインによる 「四季の同時体験」

上越妙高の魅力である「自然と四季」を、都市のゾーニング（区画整理）によって表現。春・夏・秋・冬のエリアを駅周辺に配置し、歩くだけで一年間の季節の移ろいと「日本らしさ」を体験できる観光拠点としての駅を提案しました。

- **四季のゾーニング**：釣り堀（春）、キャンプ（夏）、食のコンテナ（秋）、温泉（冬）を配置。
- **地産地消**：畑や牧場を駅近くに配置し、地域の食を提供。

妙高の四季と未来をつなぐ駅



春：高田城の夜桜をイメージした釣り堀と調理スペース。



夏：花火と音楽、川遊びが楽しめる賑やかなキャンプエリア。



秋：実りの秋を象徴するレストランと、メニュー開発を行うコンテナラボ。



冬：雪景色と滝を望む露天風呂。サウナも完備した癒やしの冬。

妙高の四季と未来をつなぐ駅



優秀賞
(中学生・高校生部門)

中学生・高校生部門②

チーム名：匡c r a f t (高1・高1)

タイトル：From a Transit Point to a Destination

作品説明・アピールポイント

- ・ この作品は、20年後の上越妙高駅周辺の姿を想像し、駅を中心に人と街がつながる未来のまちをテーマに制作しました。
- ・ 上越妙高駅は新幹線が停車する重要な場所である一方、通過点になりやすいと感じたため、駅そのものを「目的地」として機能させることを目標にしています。
- ・ 駅前には歩行者の動線を意識した広場や道路を配置し、雨の日や夜でも安心して利用できるよう、街灯や建物の配置、視認性を工夫しました。
- ・ 建物の高さや配置は圧迫感を減らしつつ、駅周辺としてのにぎわいが感じられるよう計画しています。
- ・ また、駅周辺にはコンテナを活用した店舗エリアを設けました。コンテナ型の店舗は、出店や移動がしやすく、若者や地域の人々が新しい挑戦を始めやすい仕組みだと考えています。
- ・ イベントや季節に応じて並び替えや増設ができることで、街が成長し続けるイメージを表現しました。
- ・ 公園や水辺、桜などの自然を駅周辺に取り入れることで、建築と自然が共存する空間を目指しています。
- ・ 建物を建てるだけで終わるのではなく、人の行動や街の変化まで想像することが、未来のまちづくりには重要だと考えました。
- ・ 上越妙高駅を起点に、人が集い、使い続けることで完成していく街の姿を、マインクラフトで表現しています。



雨の日の情緒や夜景まで計算された空間設計

通過点から目的地へ： "Walkable & Stayable"

「上越妙高駅は通過点になりやすい」という鋭い分析に基づき、駅そのものを目的地化。圧迫感を減らしつつ賑わいを生む高層建築の配置、雨の日や夜景の演出など、建築学的な視点で「滞在したくなる街」を緻密に設計しました。

- ウォーカブルな動線: 歩行者が安心して歩ける広場と道路設計。
- 光と影の演出: 夜間や雨天時の美しさを計算に入れた照明計画。

From a Transit Point to a Destination



コンテナ店舗: 若者が挑戦しやすく、イベントに応じて組み替え可能な「成長する商店街」。



都市の余白: ビルを建てるだけでなく、自然と共存する公園や水辺を配置し、圧迫感を軽減。



クリーパービル: 近代的な高層ビル群の中に遊び心を。Minecraft文化とリアル融合。

From a Transit Point to a Destination